

# ワイワイガヤガヤ通信

歌舞伎には様々な歴史や決まり、独特の世界あってわかりづらいですが、決まり事を知ってしまえば歌舞伎がぐっと見やすくなりますよ。

## 第2回 歌舞伎②

★★★ 屋号とは、江戸時代の歌舞伎俳優が苗字を名乗ることを許されなかったため、代わりに使用していたものです。 ★★★

### ★歌舞伎の衣装

歌舞伎の衣装は役を理解するうえでとても参考になるポイントです。例えば袴をつけているなら武士、動きやすそうな質素なら着物なら商人です。金糸の刺繍がいっぱい入ったような豪華な着物ならお金持ちですし、着古したような地味な色なら貧乏な役でしょう。女性なら帯の締め方で年齢や職業が分かります。幅が広くて比較的高い位置に帯を結んでいれば若い娘、やや低めなら年増の女性です。主婦なら帯のすそに手ぬぐいをはさんでいることが多いですし、帯の結び目が前にあるなら遊女や花魁です。また、鉢巻きを巻いて出てくる役もいますが、そのときは鉢巻きの結び目に注目してください。結び目が右にあるなら力のみなぎっている若者である証拠です。逆に左なら、「病鉢巻き」といって病気の役であることをあらわします。劇中で死ぬ役も歌舞伎はとても多いのですが、それらの役はたいてい浅葱色という水色をどこかに身に付けていることが特徴です。

### ★隈取（くまどり）

顔にカラフルな線を描く「隈取」は血管や筋肉のデフォルメです。基本的に赤い隈取は「正義漢」です。この隈取の筋が多いほど、人物としてはよりエネルギーで感情的になっていると言えます。青い隈取は「藍隈(あいぐま)」といって、同じ悪人でも国家転覆や、王位簞奪を狙う大悪人です。「悪人には血も涙もない」という言い方を象徴するように、極悪人には赤い血ではなく、青い血が流れているという意味になります。茶色の隈取は人間以外の妖怪、物の怪の類です。ほかに、鯨のような形のひげや朝顔の葉などを描いた、ユーモアたっぷりの戯隈(ざれぐま)などがあります。

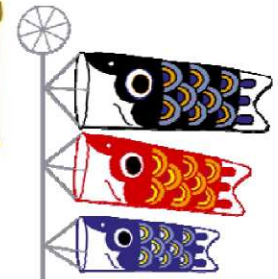


### ★見得（みえ）

ある瞬間の役者の表情や動作を観客に印象づける為に、首を振ったり廻したりしたのちに、ストップモーションのように動作を停止し、手先足先に力を込めて、睨むようにして形を決めます。目の動きが特徴的で、片方の目は真ん中に置いて、もう片方の目を寄り目にするという、一種異様な表情をします。

### ★大向こう

「松嶋屋！」「成駒屋！」——。歌舞伎を見に行くと、上演中に客席のどこからともなく大きな声が舞台に飛んできますよね、これを大向こうと言います。大向こうは俳優の登場や見得のほか、名ゼリフの呼吸の間や所作が決まった瞬間など芝居の最中に客が発する声援ですが、演目の流れによって掛け声のタイミングや種類があるので、初心者はやらない方が無難です。また、大向うは男性が掛けるのが一般的であり、女性は声を掛けてはいけない決まりになっています。



## ♪ 5月20日（水曜日）パンとお菓子作り教室 開催♪

5月のイベント企画として開催いたします。人数に限りがございますのでお早めにご予約ください。お待ちしております。



講師 : フチペパンさん  
時間 : 10時～  
会費 : 1,500円  
募集 : 10名様



〒174-17 材二7 TEL 76-0028